

平成18年度の当初予算

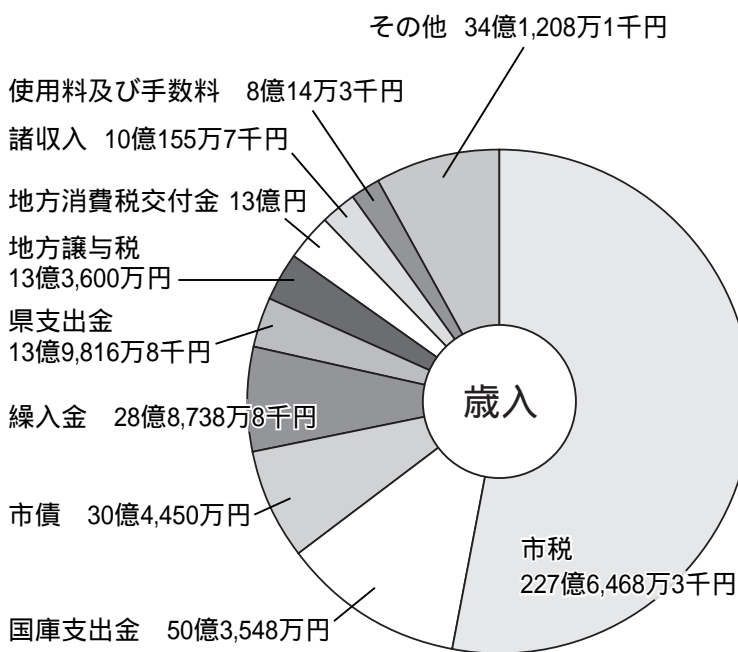
一般会計 429億8千万円
 総額 802億8千366万円

平成18年度当初予算が第1回定例会市議会で成立しました。市の財政の中心となる一般会計予算額は、429億8千万円で、前年度に比べて26億4千万円(6.5%)の増となりました。また、特別会計と水道事業会計を含めた予算総額は、802億8千366万円、前年度比5.3%の増となりました。18年度の当初予算では、限られた財源をより効率的効果的に配分し、経費の縮減を図りつつ、必要な事業へ重点的に配分しました。ここでは、主に一般会計予算の内容を歳入歳出別にお知らせします。

歳入

歳入は市に入ってくるお金です。グラフ1のとおり、一般会計の歳入のうち最も多いのが、個人市民税や法人市民税、固定資産税などの市税で、全体の5割を超える額を占めています。続いて多いのが国庫支出金で、市が行う特定の事業に国から交付される補助金などです。次に多いのが市債で、市が事業を行うために国などから借り入れるものです。そして繰入金、県支出金、地方譲与税などの順に入っています。

グラフ1 歳入の内訳



一般会計

主な重点施策の予算

総務費 中期基本計画策定事業：1千200万円 電子申請システム構築事業：562万9千円 公共施設予約システム整備事業：2千330万円 地区まちづくり推進事業：500万円 人間基地周辺共同受信施設設置事業：4千911万7千円 市税徴収員設置事業：301万5千円 税総合システム構築事業：2億571万7千円

民生費 指定管理者制度導入事業：1億1千237万2千円 (仮称)住民参加型福祉センター整備事業：5千万円 介護予防啓発事業：275万円 自立支援教育訓練給付事業：60万円

衛生費 指定管理者制度導入事業：1億931万8千円 地球温暖化対策実行計画策定事業：450万円 廃プラスチック類分別収集リサイクル事業：1億152万3千円 ごみ収集車両整備事業：2千300万円 資源ごみ収集車両整備事業：9千877万円 リサイクルプラザ整備事業：12億2千896万3千円

労働費 雇用促進システム整備事業：81万9千円 指定管理者制度導入事業：5千650万円

農林水産業費 基盤整備促進事業：3千700万円

商工費 指定管理者制度導入事業：69

平成18年度予算の一覧表

区分	平成18年度予算額 (前年度比)	増減率 (%)	
一般会計	429億8,000万円 (26億4,000万円増)	6.5	
特別会計	国民健康保険	131億7,045万2千円 (6億6,774万4千円増)	5.3
	下水道事業	47億8,936万7千円 (4億7,226万6千円増)	10.9
	老人保健	83億8,925万1千円 (8,205万8千円増)	1.0
	狭山都市計画事業上広瀬土地区画整理事業	2億6,201万1千円 (2億2,207万5千円減)	45.9
	狭山都市計画事業狭山市駅東口土地区画整理事業	5億3,216万3千円 (2億1,893万9千円減)	29.1
	介護保険	54億640万9千円 (2億4,789万9千円増)	4.8
	計	325億4,965万3千円 (10億2,895万3千円増)	3.3
	水道事業会計	47億5,400万7千円 (4億334万4千円増)	9.3
合計	802億8,366万円 (40億7,229万7千円増)	5.3	

市民一人が負担する市税 総額14万2,017円

市民税	7万967円
固定資産税	5万8,216円
都市計画税	6,416円
市たばこ税	5,552円
軽自動車税	864円
特別土地保有税	2円

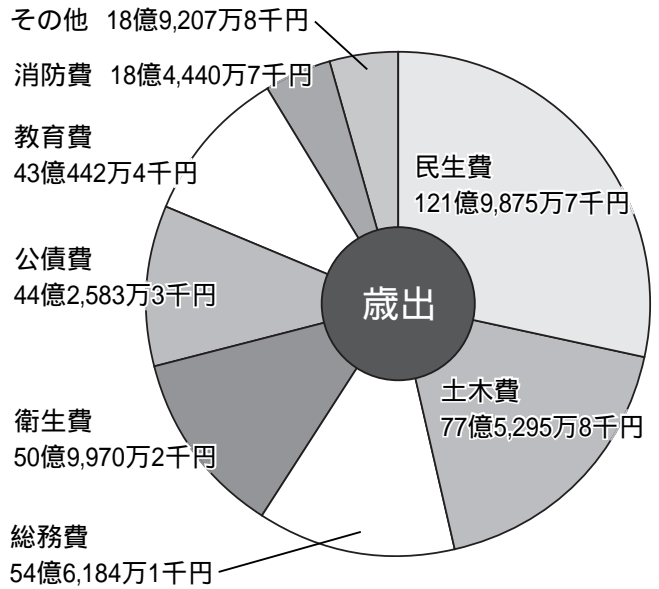
人口...16万296人 (平成18年1月1日現在)

市民一人あたりに使われるお金 総額26万8,129円

民生費	7万6,101円	子育て支援、高齢者対策などの福祉に使われるお金
土木費	4万8,367円	道路や公園を建設・修繕するためのお金
総務費	3万4,074円	市の運営のために使われるお金
衛生費	3万1,814円	ごみの処理やリサイクル、環境対策に使われるお金
公債費	2万7,610円	市の借入金の返済をするためのお金
教育費	2万6,853円	学校・図書館などの運営や施設を維持していくためのお金
消防費	1万1,506円	消防や防災事業に使われるお金
その他	1万1,804円	商業・農業などに使われるお金

4万円 商店街環境整備事業：200万円
 土木費 木造住宅耐震診断補助事業：30万円
 道路維持補修事業：3億1千70万6千円 一般市道整備事業：2億1千720万7千円 不老川橋りょう改修事業：3千300万円 久保川河川整備計画策定事業：505万5千円
 いつ水対策事業：700万円 狭山市駅西口地区第一種市街地再開発事業：27億7千757万円 新都市機能ゾーン整備事業：8億651万7千円
 入曽駅東口地区整備事業：400万円
 狭山市駅霞野線整備事業：9千872万6千円 緑地公有地化事業：5千245万円
 くぬぎ山地区自然再生事業：8千183万円 指定管理者制度導入事業：1億7千160万1千円 智光山公園整備事業：4千900万3千円
 消防費 消防特殊資器材整備事業：276万円 消防緊急通信指令システム整備事業：3千387万8千円
 消防機械施設整備事業：4千850万円
 地域防災無線整備事業：6千470万円
 地域防災計画等策定事業：300万円
 教育費 教育センター改修事業：1千339万9千円 小中学校校務員配置事業：3千186万円
 小中学校トイレ改修事業：2千910万円
 小学校校舎耐震補強設計事業：1千900万円
 小学校校舎大規模改修事業：2億1千50万円
 中学校校舎耐震診断事業：1千300万円
 七曲井崩落防止事業：60万1千577千7千円
 指定管理者制度導入事業：60万1千577千7千円

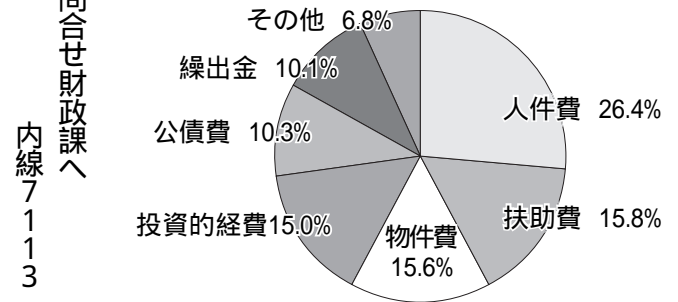
グラフ2 歳出の内訳



歳出

歳出は皆さんのために使われるお金です。グラフ2のとおり、一般会計の歳出では、民生費が最も多く、高齢者や障害者、児童などの福祉に使われます。土木費は、道路や公園の整備・改修など都市基盤の整備に充てられます。総務費は庁舎や財産の管理、市運営費などの経費に充てられます。続いて衛生費、公債費、教育費などの順になっています。

グラフ3 歳出の性質別内訳



問合せ財政課へ
内線7113